

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年1月25日(2018.1.25)

【公開番号】特開2017-164104(P2017-164104A)

【公開日】平成29年9月21日(2017.9.21)

【年通号数】公開・登録公報2017-036

【出願番号】特願2016-50585(P2016-50585)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月8日(2017.12.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

遊技中に遊技者が触ることが可能な位置に設けられ、動作可能な第 1 可動物と、

遊技中に遊技者が触ることが不可能な位置に設けられ、動作可能な第 2 可動物と、

第 1 条件が成立したことにともづいて前記第 1 可動物の位置の監視を実行し、前記第 1 条件と少なくとも一部が異なる第 2 条件が成立したことにともづいて前記第 2 可動物の位置の監視を実行する監視手段とを備え、

前記遊技機は、遊技媒体が流下可能な遊技領域を有する遊技盤と、該遊技盤を覆うように取り付けられる遊技枠とを備え、前記第 1 可動物は、前記遊技枠に設けられている

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記第 1 可動物は、外力が加えられた場合の破損を防止する破損防止手段を備えた
請求項 1 記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(手段 1) 本発明による遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機であって、遊技中に遊技者が触ることが可能な位置に設けられ、動作可能な第 1 可動物(例えば、第 1 可動物 2 9)と、遊技中に遊技者が触ることが不可能な位置に設けられ、動作可能な第 2 可動物と(例えば、第 2 可動物 1 9)、第 1 条件が成立したことにともづいて第 1 可動物の位置の監視を実行し(例えば、演出制御用 CPU 1 0 1 におけるステップ S 9 0 0 1、S 9 0 0 3、S 9 0 0 5、S 9 0 0 6、S 9 0 0 7 の判定にもとづいてステップ S 9 0 1 0、ステップ S 9 0 1 1 を実行する部分)、第 1 条件と少なくとも一部が異なる第 2 条件が成立したことにともづいて第 2 可動物の位置の監視を実行する(例えば、演出制御用 CPU 1 0 1 におけるステップ S 9 1 0 1、S 9 1 0 2 の判定にもとづいてステップ S 9 1 0 3、ステップ S 9 1 0 4 を実行する部分)監視手段とを備え、遊技機は、遊技媒体が流下可能

な遊技領域を有する遊技盤（例えば、遊技盤 6）と、遊技盤を覆うように取り付けられる遊技枠（例えば、遊技枠 200）とを備え、第 1 可動物は、遊技枠に設けられていることを特徴とする。そのような構成によれば、可動物に不具合が生じる可能性を低減することができる。また、遊技枠の装飾効果を向上することができる。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

（手段 2）手段 1 において、監視手段により第 1 可動物および第 2 可動物のうちの少なくとも一方の位置の異常が検出されたことにもとづいて所定の処理を実行する実行手段（例えば、演出制御用 CPU 101 におけるステップ S9001～ステップ S9015、ステップ S9101～ステップ S9109 を実行する部分）を備え、監視手段は、第 2 可動物より長い実行間隔により第 1 可動物の監視を実行する（例えば、第 1 可動物が 1 分、第 2 可動物が 30 秒）ように構成されていてもよい。そのような構成によれば、短期的な異常を無視して、無駄な処理を繰り返してしまうことを防止することができる。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

（手段 3）手段 1 または手段 2 において、第 1 可動物は、外力が加えられた場合の破損を防止する破損防止手段（例えば、第 1 可動物用モータが脱調すること）を備えたように構成されていてもよい。そのような構成によれば、可動物の破損を防止することができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

（手段 4）手段 1 から手段 3 のうちのいずれかにおいて、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変表示中に、第 1 可動物を動作させる第 1 演出を実行する第 1 演出実行手段と、有利状態に制御されることにもとづいて、第 2 可動物を動作させる第 2 演出を実行する第 2 演出実行手段とを備え、第 2 演出実行手段は、第 1 演出実行手段により第 1 演出が実行されたか否かに応じて、第 2 演出を異なるタイミング（例えば、プッシュボタン 120 の操作検出のタイミングとファンファーレ演出開始のタイミング）で実行可能であるように構成されていてもよい。そのような構成によれば、可動物を可動させる複数の演出に関連性を持たせ、興趣を向上させることができる。